

令和元年度 複数年型委託事業成果概要

事業名：イラク政府に対する石油開発実務と
関連技術の支援と人材育成に関する事業
実施者：伊藤忠商事株式会社

2020年3月31日

事業背景、実施目的

<事業背景>

産油国であるイラク国は、既存のパイプライン・タンクファーム・港湾設備の老朽化による輸出キャパシティ低下・不足に加えて、原油増産に必要とされている圧入水の水源問題・フレアガス・随伴ガス処理問題や環境面へ配慮した操業等の課題を抱えている。他方で、日本国としても復興支援を提供しているものの、未だイラク国における石油・開発関連の技術者も不足している状態であり、継続した支援を必要としている。

<事業目的>

イラク政府-伊藤忠間で良好な関係を維持した上で、イラク国のビジネス発展に繋げることを目的とする。

事業内容

<内容>

人材育成研修として、2019-2020年度中にフェーズ1を実施し、そこでは広範なトピックス(後述)を設け、イラク側での関心事項や課題、及びニーズを把握する。フェーズ1で抽出されたテーマや課題をより深掘り出来るような研修をフェーズ2として2020-2021年度で計画・実施する。

<方法>

研修は座学・ワークショップ・現場視察から構成予定。

事業内容

<研修概要>

対象：イラク国石油省高官・石油省傘下国営会社より5名程度

期間：7日間、うち研修期間は5日間（予定）

回数：2019－2021年度の間で3回実施予定

<トピックス例>

- 近年の石油産業動向(石油産業に対する国際的な要求事項)
- フレアガス削減とガスの有効利用
- CO₂-EOR/CCUS(Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)技術動向
- IoTを活用した石油開発業務(業務効率化・高度化) etc

※具体的なトピックスについては、イラク側の関心事項を事前聴取した上で決定する

事業スケジュール

CY		2020年												2021年												2022年		
No.	項目	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
フェーズ		フェーズ1										フェーズ2																
1	事前準備(イラク側要望聴取)	■	■	■	■																							
2	第1回研修事業実施(@日本)				★																							
3	事後フォロー						■	■	■																			
4	フェーズ1委託業務完了報告書									★																		
5	フェーズ1実績報告書									★																		
6	事業計画書									★																		
7	事前準備(トピックス検討/要望聴取)										■	■	■	■														
8	第2回研修事業実施(@日本)														★													
9	事後フォロー															■	■	■										
10	中間報告																		★									
11	事前準備(トピックス検討/要望聴取)																			■	■	■						
12	第3回研修事業実施(@日本)																						★					
13	事後フォロー																							■	■			
14	フェーズ2委託業務完了報告書																										★	
15	フェーズ2実績報告書																										★	

2019年度の実施内容

- 2020年3月：伊藤忠商事よりイラク国側へ本研修事業への案内レターを出状
- 同年同月：「COVID-19の影響を受け6月までは日本への派遣を行うことができない」旨、返信あり。
- 同年同月：イラク国側に了解及びフレキシブルに今後対応していく旨の内容のレターを発出。

2020年度の実施内容（予定）

- 第1フェーズの早期実施に重点を置き、実施環境を考慮しながら、プログラムの開催時期、開催形態も含めてイラク側と慎重に検討していく方針。
- 尚、事前準備を含めて、遠隔コミュニケーションツールを活用し、実施の促進を図るよう努める。

今後に向けて

- 2020年3月末時点でイラク国でのCOVID-19の感染者数は引き続き感染が拡大している状況。
- 引き続きイラク石油省関係者と日常的にコンタクトしていくと共に、現在イラク政府が抱える原油市場環境の変化やCOVID-19による影響を注視していく。